

OPS640

Cutting Master for Windows[®]

MANUAL NO. OPS640W-UM-106

取扱説明書



グラフィック 株式会社

ソフトウェア使用許諾契約書

グラフテック株式会社(以下、当社と呼びます)は、本規定とともに提供するソフトウェア(以下、本ソフトウェアと呼びます)を、日本国内に限って使用する権利を、下記条件にもとづきお客様に許諾し、お客様も下記条件にご同意頂くものとします。

1. 著作権

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに伴って提供されるマニュアル等の印刷物に記載された情報の著作権は本ソフトウェアまたは当該印刷物に記述された個人または法人にそれぞれ属します。

2. 使用权

- ①お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータ機器に使用できます。
- ②お客様は、本ソフトウェアを輸出または日本国外に持ち出すことはできません。

3. 複製または改造

- ①お客様は、予備(バックアップ)のため、本ソフトウェアを複製することができます。この場合、お客様はすべての複製物に本ソフトウェアに付された権利(著作権)表示を行うものとします。
- ②お客様は、本ソフトウェアの逆アセンブルおよび逆コンパイルを含め、いかなる方法によっても、本ソフトウェアを改変、結合、修正、その他の翻案を行うことはできません。

4. 第三者の使用

お客様は、本ソフトウェアおよび使用权を第三者に対して、再使用許諾、譲渡、移転、その他の処分を行うことはできません。

5. 保証

- ①本ソフトウェアの記憶媒体の物理的不良のために、本ソフトウェアが正常に動作しない場合には、ご購入いただいた販売店にお申しつけください。当該物理的不良について当社に責任がある場合無償で交換いたします。
- ②前項の交換は本ソフトウェアの記憶媒体に対する当社の唯一の保証と致します。
- ③当社は本ソフトウェアを「そのままの状態」で提供します。当社およびサプライヤーは、お客様が本ソフトウェアまたはドキュメンテーションのご使用によって得られる可能性のある性能または結果については保証致しません。また、当社およびそのサプライヤーは、第三者の権利の不侵害、商品性または特定目的への適合性に関して、いかなる明示または黙示の保証も致しません。いかなる場合においても当社またはそのサプライヤーは、付随的、派生的または特別の損害について責任を負いません。たとえ販売店がその種の損害が発生する可能性について通知をしていたとしても、当社またはそのサプライヤーは責任を負うものではありません。第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。

登録商標について

- ◆本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標、または商標です。
- ◆『Cutting Master』ソフトウェア本体および本書は、グラフィック株式会社がすべての著作権を保有しています。

本書に関する注意

- ◆本書の内容の一部、または全部を無断で複製、転載することを禁止します。
- ◆本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
- ◆本書および製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤りなどお気付きの点がございましたら、弊社またはお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ◆本書、および製品を運用した結果の影響につきましては、上記の項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

サポート

- ◆グラフィック株式会社 コールセンター
TEL : 0570-016262(ナビダイヤル)
受付時間 9:00～19:00(土・日・祝祭日と弊社指定の休日を除く)
※ただし、通話地域制限がある内線電話からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
また、携帯電話をご使用の場合、ナビダイヤルにつながらないことがあります。その場合は、045-825-6382におかけください。
FAX : 0120-710697
E-mail : graphcs@graphtec.co.jp
- ◆ドライバソフトのアップデートに関しては、グラフィックのホームページ(下記アドレス)にて行っております。
<http://www.graphtec.co.jp/>

目次

第1章	はじめに	
1.1	特徴	4
1.2	動作環境	5
1.3	注意事項	6
第2章	セットアップ	
2.1	プラグインのインストール	7
2.2	Windowsドライバ(OPS628・OPS662)のインストール	7
第3章	基本的な操作	8
第4章	機能の詳細	
4.1	Cutting Masterウィンドウ	13
4.2	メディアリスト	30
4.3	メディア設定	32
4.4	フォルダ設定	34
4.5	トンボ	35
第5章	エラーメッセージ	37

第1章

はじめに

本ソフトウェアCutting Masterは、Windows上のAdobe Illustratorから弊社カッティングプロッタを使用するための出力プラグインです。Illustrator書類上にある図形の線や、文字*のアウトラインなどを弊社カッティングプロッタへ出力することができます。

*：Illustratorでアウトライン化する必要があります。

1.1 特徴

Cutting Master Ver.3.5は、次のような特徴があります。

- USB接続が可能なプロッタに出力する場合、簡単な接続、高速なデータ転送が可能です。
- プロッタのベジエ曲線作図機能を使用し、滑らかな曲線を作図できます。
- Illustrator上で原点を指定でき、正確な位置関係で出力できます。
- 点線や破線で出力できます。
- 選択した図形のみ出力できます。
- レイヤー／色別に出力できます。
- レイヤー名／色による出力条件の自動選択ができます。
- 設定した内容をファイルに保存し、必要に応じて読み込むことができます。
- メディア移動を抑えるソート機能をサポートしています。
- 枠切り機能を使って、カッティングメディアのカス取り枠を自動的に出力することができます。
- 分割出力を使って、プロッタの作図範囲を超える図形を複数ページに分けて出力することができます。
- メディア名による出力条件の管理ができます。
- マトリックスコピー機能を使用して、図形を複数個出力することができます。
- トンボ作成機能を使用して、簡易にIllustrator書類にトンボを作成することができます。
- FC5100A・FC7000・Craft ROBO-Pro・CE3000Mk2に対して、トンボユニットの設定や読み取り実行を行うことができます。
- FC5100A・FC7000・CE3000Mk2に対して、配列プリント&カットを実行することができます。
- FC7000に対して、セグメントエリア補正を実行することができます。

1.2 動作環境

下記の環境で動作を確認しています。

◆ 動作アプリケーション

Adobe Illustrator(Windows版)8.0.1、9.0.2、10.0.3、CS(11.0.1)

◆ CPU、メモリ、OS、モニタ解像度／表示色数：上記の各Illustratorに準拠

◆ 使用可能なグラフィック社製プロッタは、Readme.txtを参照してください。

※：本プラグインは、弊社Windowsドライバを経由して出力します。Windowsドライバをインストールしてご使用ください。

Windowsドライバは一部旧機種を除き、プロッタ付属のフロッピーディスクまたはCD-ROMに含まれています。また、弊社Webサイトで最新版をダウンロードすることができます。

1.3 注意事項

- 本プラグインは、カッティングプロッタへの出力を行うための専用ソフトウェアです。カッティングプロッタでは「線」のみを扱うため、Illustrator上で作成できる多角形などの「面」を持つ図形を出力しても、本プラグインでは外形線のみを出力します。
- 本プラグインで出力できる文字フォントは、Illustratorのアウトライン作成機能でアウトライン化できる文字だけです。
- Illustrator書類上の線の太さや線種、線の色は出力結果に反映されません。ただし、本プラグインの設定で出力する線種を選択することができます。また、線の色で出力条件を選択させることができます。
- 他社のプラグインソフトを同時に使用しないでください。同時に動作させると正常に機能しない可能性があります。
- 本プラグインを使用する場合、プロッタの[コマンドの設定]を[GP-GL]に設定してご使用ください。
- 設定により、作図原点に1mm程度の誤差が生じる場合があります。
- Illustrator 8の[ブラシ]ツールは、線幅が不正になっている場合があります。[ブラシ]ツールで作成した図形が本プラグインで認識できない場合は、Illustratorの[線種]ウィンドウで、図形の線幅を再設定してから本プラグインを起動してください。
- Illustratorの[ブレンド]ツールを使用した図形は出力できません。
- Illustratorの[文字]ツールで文字を書き、文字のアウトライン化を行わないで出力した場合、文字は出力されません。また、文字列の外枠となる四角形が出力される場合があります。
- Illustrator 9、Illustrator 10、Illustrator CSの[クリッピングマスク]機能 (Illustrator8では[マスク]機能)で図形の一部または全てを隠した場合も、本プラグインでは隠れている部分を含む全ての線分が出力対象となります。

<FC3600でご使用の場合>

- メディアリストにあらかじめ登録されているFC3600の設定は、全てペンキャリッジを使用する際の条件です。
- 本ソフトウェアでツールキャリッジの高さ設定を変更することはできません。ツールキャリッジの高さは、プロッタのパネルで設定してください。
- 本ソフトウェアでFC3600のカット圧を指定する場合、ペンとツールで設定できる値が異なります。使用されるペンまたはツールを確認の上、プロッタの取扱説明書を参照して設定してください。
- FC3600で、X方向、Y方向で別のカット圧を使用したい場合は、プロッタのパネルで設定してください。その際、本ソフトウェアでカット圧や品質をセットしないようにしてください。

第2章

セットアップ

2.1 プラグインのインストール

セットアップ方法

Windowsを起動します。

Adobe Illustratorがインストールされていない場合は、Adobe Illustratorをインストールします。

Cutting Masterのディスクをドライブにセットします。

[スタート]ボタンメニューから[ファイル名を指定して実行(R)...]を選択します。

[ファイル名を指定して実行]ウィンドウの[名前]に、ドライブ名とSETUP.EXEをキー入力します。

入力後[OK]ボタンをクリックすると、Cutting Masterのセットアッププログラムが起動します。ここからは、セットアッププログラムの指示に従ってセットアップを行います。

※：正常にセットアッププログラムが終了すると、Illustratorの[ファイル]メニューに[Cutting Master]が追加されます。

2.2 Windowsドライバ(OPS628・OPS662)のインストール

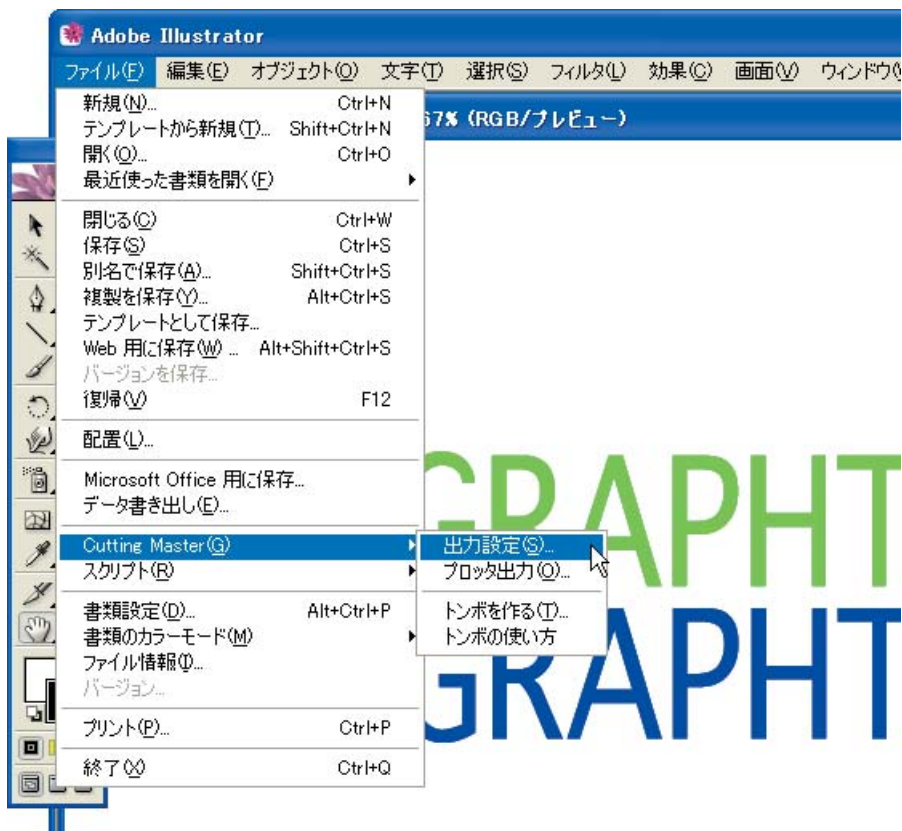
Windowsの[コントロールパネル]にある[プリンタ]から[プリンタの追加]を開き、ウィザードに沿ってインストールを行います。詳細は、Windowsドライバの各OSのフォルダ内にある[Readme.txt]ファイルを参照してください。

第3章

基本的な操作

本プラグインをセットアップすると、Illustratorの[ファイル]メニューに[Cutting Master]が追加され、そのサブメニューで[出力設定][プロッタ出力][トンボを作る][トンボの使い方]が選択できるようになります。

本プラグインは、上記4つの項目でほとんど全ての操作を行います。



出力設定 本プラグインのメインウィンドウである[Cutting Master]ウィンドウを呼び出します。

Cutting Masterのほとんど全ての設定は、[Cutting Master]ウィンドウで行います。また、このウィンドウから出力を行うこともできます。設定の詳細に関しては、「第4章 機能の詳細」を参照してください。

プロッタ出力 設定に従いプロッタに出力します。

トンボを作る Illustrator書類上で選択されている四角形を、トンボに変換します。

トンボの使い方 トンボを使うと、印刷物に沿ってカットすることができます。その手順を解説したPDFファイルを表示します。

● プロットに出力するには

Illustratorの[ファイル]メニューにある[Cutting Master]→[プロット出力]を選択すると、Illustratorの書類にある図形をプロットに出力します。出力される位置は、プロットの原点の右上になります。

出力対象となっている図形全てを囲む最小の四角形を想定し、その左下点がプロットの原点になるように出力します。出力されるサイズは、Illustrator書類上の図形のサイズです([書類の原点を使用する][回転][拡大/縮小率]を変更していない場合)。

● 文字を出力するには

本プラグインで出力できる文字は、アウトライン化したフォントのみです。Illustrator書類上で出力したい文字を選択し、Illustratorの[文字]メニューで[アウトライン作成]を実行してください。作成されたアウトラインは他の図形と同様に出力することができます。

● 出力位置を変更するには

[Cutting Master(ページ：オプション)]ウィンドウにある[オフセット]を指定して、出力位置を変更することができます。ただし、プロット側の原点より左側、下側には作図しません。オフセットに負の値を設定してもプロット側の原点より右上にある部分だけを作図します。

● 出力サイズを変更するには

[Cutting Master]ウィンドウにある[拡大/縮小率]を変更して、出力サイズを調節することができます。

● 回転して出力するには

[Cutting Master]ウィンドウにある[回転]を指定して、出力する図形を回転させることができます。回転した結果は、必ずプロットの原点の右上に出力されます。出力対象となっている図形全てを囲む最小の四角形を想定し、その範囲全体が回転し、回転結果の左下点がプロットの原点になるように出力します([書類の原点を使用する]を変更していない場合)。

● 線幅を持つ線のアウトラインを出力するには

以下の操作で線幅を持つ線のアウトラインを作成します(操作前に書類を保存してください)。

- アウトラインを出力したい線をIllustrator上で選択します。
- Illustratorの[カラー]ウィンドウで[塗り]を[/](なし)にします。
- Illustratorの[オブジェクト]メニューから[パス]→[パスのアウトライン]を選択すると、線幅を持つ線のアウトラインが作成されます。作成されたアウトラインは他の図形と同様に出力することができます。

▲ 注意

操作後、書類は変更されています。保存の際にはご注意ください。

● 重なっている図形のアウトラインを出力するには

以下の操作で、重なっている図形を合成します(操作前に書類を保存してください)。

- 重なりを認識したい図形を全て選択します。

- Illustratorの[パスファインダ]ウィンドウの[合成]にある[合体]を選択すると、重なった図形をひとつの図形として合成します。合成した図形を出力すれば、アウトラインが出力されます。

△注意

操作後、書類は変更されています。保存の際にはご注意ください。

●プロッタの幅を超える図形を、複数に分割して出力するには(分割出力)

文字のアウトラインデータなどは、[Cutting Master]ウィンドウにある[分割出力/重ね幅]機能を使用すると、作図範囲で指定された範囲の図形を切り出して閉図形化し、出力することができます。

ただし、非常に複雑なデータの場合、正常に閉図形化できない場合があります(複数の図形や文字のアウトラインなどを結合したデータ、Illustratorのダイレクト選択ツールを使用して曲線を編集したデータ、複数の図形が重なり、線が交差するデータなど)。このような場合は枠切り機能を併用して下さい。枠切り機能を併用して分割出力を行うと、枠内にあるページの境界を直線でカットします。また、Illustratorのナイフツールを使用して図形を分割して出力する方法もあります。

●Illustrator上で図形を分割して出力するには

[Cutting Master(ページ：オプション)]ウィンドウに表示される[書類の原点を使用する]をOFFにし、[選択オブジェクトのみ出力]をONにします。次に以下の操作で図形を分割します(操作前に書類を保存してください)。

- 書類の中で、グループ化されている図形があればグループ化を解除します。
- Illustratorの[ツールボックス]にある[ナイフ]ツールを選択し、プロッタで出力できる幅に図形を分割します。[ナイフ]ツールは、キーボードの[Alt]ボタンを押しながら使用すると直線で分割線を指定できます。

分割した図形の一方を選択し、出力してください。出力終了後、メディアを交換し、分割した図形の他方を出力してください。3つ以上に分割した場合も同様に順次出力してください。

△注意

操作後、書類は変更されています。保存の際にはご注意ください。

●プリント&カットをするには

プリント&カットとは、プリンタで印刷した印刷物に対して、カッティングプロッタで二次加工を行うことで、[任意の形に切り取った印刷物(ステッカーなど)]を作成する作業のことです。プリント&カットを行うには、トンボ読み取りユニット付きのプロッタが必要です。

1. トンボの作成

まず以下の操作で印刷イメージの周りにトンボを作成します。(操作前に書類を保存してください。)

- プリント&カットを行いたい図形の周りにトンボ作成の基準となる四角形を作成します。
- その四角形のみが選択された状態で、Illustratorの[ファイル]メニューにある[Cutting Master]→[トンボを作る]を選択します。

- 表示されるウィンドウで[作成]ボタンを押すと、トンボが作成されます。([書類の原点をトンボに合わせる] はONで作成してください。)

2. プリント

上記で作成されたトンボを含めて、プリンタに印刷を行います。

3. カット

以降はご使用のプロッタ機種により、操作が異なります。

<FC5100A・FC7000・Craft ROBO-Pro・CE3000Mk2をご使用の場合>

- Illustratorの[ファイル]メニューにある[Cutting Master]→「出力設定」を選択します。
- 表示された[Cutting Master]ウィンドウの「トンボ設定」ページにある[トンボを使用する]をONにします。
- 上記で作成した印刷物をプロッタにセットします。印刷物のセット方向は、[Cutting Master]ウィンドウ上に示されたプロッタの絵を参考にしてください。
- 左下トンボの読み取り有効範囲にペン(カッター)を移動します。読み取り有効範囲は[Cutting Master]ウィンドウ上に表示されたプロッタの絵の中で、緑色で示されている部分です。
- 出力するとトンボ読み取りを行い、続いてカットを行います。トンボ読み取りに失敗した場合は、印刷物をセットしなおして再出力してください。トンボ読み取りが成功すると、カットを開始します。

<FC5100A・FC7000・Craft ROBO-Pro・CE3000Mk2以外の機種をご使用の場合>

- Illustratorの[ファイル]メニューにある[Cutting Master]→「出力設定」を選択します。
- 下記のように設定してください。
[拡大縮小率]:100%、[回転]:なし、[粹切り]:OFF、[分割出力]:OFF、オプションの[マトリックスコピー]:OFF、オプションの[書類の原点を使用する]:ON
- 印刷物とIllustrator書類を比較し、Illustrator書類上で左下にあるトンボが、プロッタを正面から見て右手前の位置に来るように、印刷物をプロッタにセットしてください。
- トンボ作成時のトンボ形状、長さ、太さの設定がプロッタ側の設定と一致していない場合は一致するように変更してください。
- プロッタでトンボ読み取りを行ってください。
- プロッタからトンボ間距離を求められた場合は、トンボ作成プラグインで表示されていた値を入力してください。
- 通常通り、Cutting Masterから出力を行うと、カットを開始します。

●配列プリント&カットをするには

配列プリント&カットとは、トンボに囲まれた同一の印刷イメージを複数配置し、順次トンボを読み取りながらカットすることでステッカーの大量製作などを行う作業のことです。配列プリント&カットを行うには、FC5100A・FC7000・CE3000Mk2が必要です。

1. トンボの作成

はじめに、前項と同様の操作で印刷イメージの周りにトンボを作成してください。(操作前に書類を保存してください。)

2. 配列プリントをする

印刷にRIPを使用する場合は、RIPの割り付け機能を使用してトンボ付きのイメージをX・Yとも等間隔に複数配置して印刷してください。RIPを使用しない場合、Illustratorの編集機能でトンボ付きのイメージをX・Yとも等間隔に複数作成して印刷してください。(Illustratorの[レイヤー]ウィンドウを表示し、[Graphtecトンボ]レイヤーのロックを外してください。次にトンボで囲まれた図形(トンボを含む)を全て選択し、Illustratorのオブジェクトメニューにある、[変形]→[移動]で表示されるウィンドウで移動距離を設定し、[コピー]ボタンを使用してコピーし、[Ctrl]+[D]キーで処理を繰り返すと、簡易に等間隔の複数図形が作成できます。)

3. カット

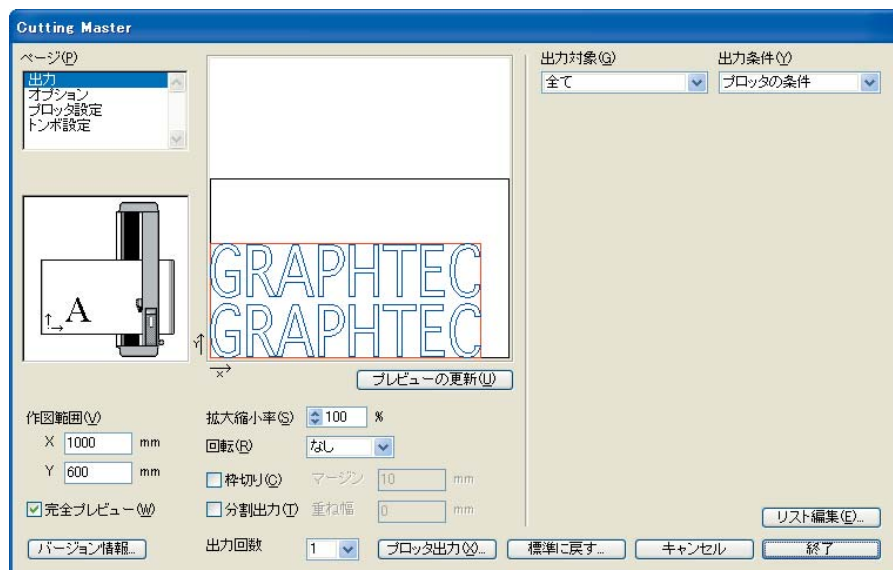
- Illustratorの[ファイル]メニューにある[Cutting Master]→[出力設定]を選択し、Cutting Masterを起動します。Illustrator上で図形をコピーした場合は、コピーの元となった、トンボに囲まれた1ブロックのみを選択してから起動してください。
- 表示された[Cutting Master]ウィンドウの[オプション]ページにある[選択オブジェクトのみを出力する]がOFFの場合にはONにしてください。
- [トンボ設定]ページにある[トンボを使用する]をONにします。
- 上記で作成した印刷物をプロッタにセットします。印刷物のセット方向は、[Cutting Master]ウィンドウ上に示されたプロッタの絵を参考にしてください。
- いちばん左下にあるブロックの、左下トンボの読み取り有効範囲にペン(カッター)を移動します。読み取り有効範囲は[Cutting Master]ウィンドウ上に表示されたプロッタの絵の中で、緑色で示されている部分です。
- [Cutting Master]ウィンドウの[トンボ設定]ページにある[配列]をONにします。
- 配列のテキストボックスに印刷したブロック数を指定します。[x]はIllustrator書類上で水平方向の数、[y]は垂直方向の数です。ブロック間距離はブロック間の空白部分の長さです。
- 出力を行うと、トンボ読み取りを行い、続いてカットを行います。ひとつのブロックについて出力が終わると、次のブロックのトンボ読み取り、カットを行います。トンボ読み取りに失敗した場合は、プロッタのパネルに表示される指示に従ってください。

第4章

機能の詳細

4.1 Cutting Masterウィンドウ

Illustratorの[ファイル]メニューから[Cutting Master]→[出力設定]を選択すると以下のウィンドウを表示します。



ページ ウィンドウの左上にある項目はページの切り替えです。[出力][オプション][プロッタ設定][トンボ設定]を選択できます。これらを変更すると、[Cutting Master]ウィンドウの右側が、それぞれ目的に応じた項目に切り替わります。

Cutting Masterウィンドウ(常に表示される項目)

作図範囲 プレビューウィンドウに表示される黒い枠のサイズを指定します。出力サイズの目安としてご使用ください。この設定は、分割出力やマトリックスコピーを使用する場合を除き、他の機能やプロッタの動作には影響を与えません。数値入力を行った際は、[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。

完全プレビュー プレビューウィンドウの表示方法を切り替えます。通常はONでご使用ください。
出力対象が非常に細かい図形で、プレビューウィンドウの更新のためにウィンドウの操作性が悪くなるような場合には、OFFにしてください。

プレビューウィンドウ

- 出力される図形や文字のアウトラインが青線で表示され、出力される領域が赤い枠で表示されます([完全プレビュー]がOFFのときは、赤い枠のみ表示されます)。
作図範囲で指定した範囲は黒い枠で表示されます。黒い枠の左下の位置が常にプロッタで指定した原点です。
青線や赤い枠は[オフセット][拡大/縮小率]などの設定に従い、表示される位置やサイズが変わります。設定を変更したときは[プレビューの更新]ボタンで更新してご確認ください。
- プレビューの更新 ... 設定に従い、プレビューウィンドウを更新します。
- 拡大縮小率 書類上のサイズを25~400%の範囲で拡大または縮小して出力します。指定する数値は縦横の長さに対して等しくかかります。25%の場合、面積比では1/16になります。この設定はプレビューウィンドウにも反映されます。数値入力を行った際は[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。
- 回転 出力対象となる全ての図形を囲む領域を回転して出力します。
- * [Cutting Master(ページ: オプション)]ウィンドウにある[書類の原点を使用する]がONの場合、出力対象となる全ての図形とIllustrator書類上の原点を囲む領域が回転します。
 - * 回転を行うと出力原点が0.5~1mm程度ずれる場合があります。
 - * この設定はプロッタイメージとプレビューウィンドウに反映されます。
- 枠切り/マージン ... カットングメディアのカス取り用の枠を出力します。この機能を使用すればIllustrator書類上にカス取り用の枠を作成する必要はありません。
[枠切り]がONの場合、プロッタ出力時に図形と共に枠を出力します。
この場合の「枠」とは、出力対象となる全ての図形を囲む領域を、マージンで指定したサイズだけ上下左右に広げた四角形です。複数の図形が出力対象になっている場合、個々の図形に対してではなく、全体が含まれる大きな枠が出力されます。この設定はプレビューウィンドウにも反映されます。数値を変更した際は[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。
- * この機能を使用した場合、枠の左下の位置がプロッタの原点に重なるように出力されます。そのため、図形の出力位置は枠を指定しない場合とは異なりますのでご注意ください。
 - * 出力条件で[レイヤー別割り当て]または[色別割り当て]を選択した場合、「枠」は[デフォルト※]の設定で出力されます。
 - * [Cutting Master(ページ: オプション)]ウィンドウにある[書類の原点を使用する]と同時に[枠切り]を使用する場合、Illustratorの書類上で枠のマージンを考慮して原点を指定してください。枠が原点より左方向、下方向にはみ出した場合、はみ出した部分は作図されません。

分割出力／重ね幅.... [分割出力]は、ご使用のメディアのサイズを超えるような大きな図形や文字を、複数のページに分けて出力したい場合に使用します。[分割出力]がONの場合、作図範囲をページサイズとして使用し、作図範囲に収まらない図形がある場合には次のページに出力します。

出力時には、ページ毎にメディアの再セットを促すウィンドウが表示されます。プロッタでメディアの再セットや原点位置の確認をしてください。

重ね幅に[0]以外の値を指定すると、指定した幅だけページを重ねて出力します。施工時の位置合わせのために重なる部分を作りたいときご使用ください。

複数のページが出力される場合には、プレビューウィンドウに作図範囲の黒枠が複数表示されます。また、重ね幅に[0]以外の値が指定されている場合は作図範囲が指定された分だけ重なって表示されます。数値を変更した際は[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。

- * 枠切りがOFFの場合、各ページ内で図形の閉図形化を行います。閉図形化は、図形の包含関係を考慮して行われます。Illustratorの書類上で出力したい図形の外側に枠が作成されている場合は、分割出力すると中抜きデータとして閉図形化されますのでご注意ください。分割前の図形が閉図形でない場合は、閉図形化されません。また、複数の図形が交差するデータなどは正常に閉図形化できない場合があります。
- * 枠切りがONの場合、ページが隣接する部分は強制的に直線でカットされます。
- * 複数のページに分けて出力する場合の出力順は、原点のあるページを第一ページとして、プレビューウィンドウ上で上に向かって順に出力します。右側にもページがある場合は、原点のある列の一番上のページまで出力した後に、右側の一番下のページから順に上に向かって出力します。
- * [分割出力][重ね幅]の機能は、[マトリックスコピー]機能と同時に使用することはできません。
- * [分割出力]を使用する場合、出力条件は[プロッタの条件]または[指定する]を選択してください。

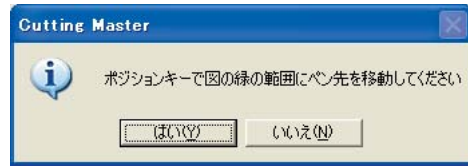
バージョン情報..... 本プラグインの著作権情報とバージョンを表示します。

出力回数..... 同じ個所を指定した回数カットします。
メディアの種類により一度でカットしづらい場合などに、この機能を設定してください。

プロッタ出力..... 設定された条件でプロッタに出力します。出力確認ウィンドウが表示されますので、出力する場合は[はい]を選択してください。



FC5100A・FC7000・Craft ROBO-Pro・CE3000Mk2で
トンボを使用する場合は、トンボ設定ページの「トンボを使用す
る」機能が使用できます。この機能がONの場合は、さらに下記の
ようなウィンドウが表示されます。

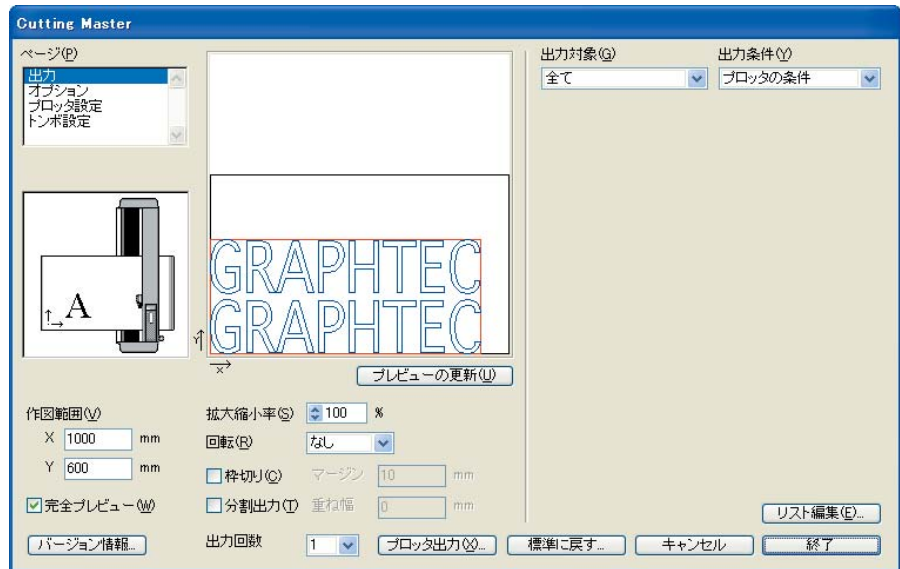


このウィンドウが表示された場合は、[Cutting Master]ウィンド
ウに表示されているプロッタの図で緑色の範囲を確認し、指示に
従ってください。トンボを使用する場合は、「Cutting Master
(ページ：トンボ設定)ウィンドウ」の記述も参考にしてください。

- 標準に戻す 全ての設定を初期状態に戻します。確認ウィンドウが表示されま
すので、初期状態に戻す場合は[はい]を選択してください。
- キャンセル 設定を全て破棄して[Cutting Master]ウィンドウを終了しま
す。
- 終了 設定を保存して[Cutting Master]ウィンドウを終了します。

Cutting Master(ページ：出力)ウィンドウ

[Cutting Master]ウィンドウの左上にあるページの切り替えで[出力]が選択されている場合、ウィンドウの右側に以下の項目が表示されます。



出力対象 この項目では出力対象を設定します。[全て][レイヤー別に選択][色別に選択]が選択できます。

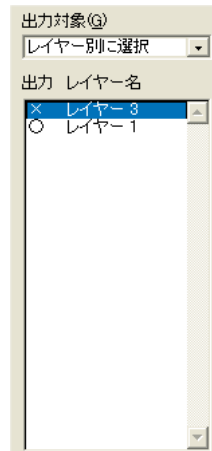
全て

カレント書類のレイヤーや図形の色に関わらず、全ての図形を出力します。

レイヤー別に選択

カレント書類のレイヤー別に出力／非出力を設定することができます。

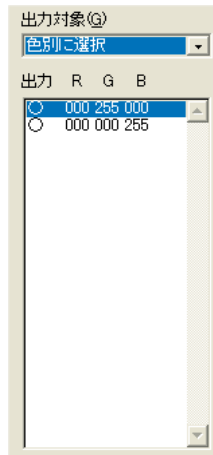
リストをダブルクリックすることで各レイヤーの出力／非出力を切り替えることができます。



色別に選択

カレント書類の図形の(線の)色別に、出力/非出力を設定することができます。

リストをダブルクリックすることで、各色の出力/非出力を切り替えることができます。



- * カレント書類とは、Illustratorで開かれている書類のうち、本プラグインを呼び出す直前に最上面にあった書類を指します。
- * [色別に選択]では、カレント書類にある図形の外形線の色を基準に設定を行います。外形線の色が指定されていない図形はリストに表示されず、出力対象になりません。また、図形の「塗り」の色は無視されません。
- * Illustrator 9・Illustrator 10・Illustrator CSの書類は、書類を新規作成する際に図形の色をRGBで扱うか、CMYKで扱うかが決定されます。本プラグインでは、これに従い図形の外形線の色をリストに表示します。
Illustratorのメニュー内で[RGBに変換]または[CMYKに変換]を行っても、本プラグインには反映されません。
- * Illustrator 8の書類は、全てRGBで扱われます。
- * Illustrator 8では、選択されていない図形の色情報が[出力対象]の[色別に出力]の色リストに表示される場合がありますが、無視してもレビュー及び出力には影響ありません。

出力条件 この項目では、出力条件を設定します。[プロッタの条件] [指定する] [レイヤー別割り当て] [色別割り当て]が選択できます。

プロッタの条件

プロッタに設定されている条件で、全ての図形を出力します。

指定する

[条件番号] [スピード] [カット圧] [品質] [線種] [ピッチサイズ]を指定して出力します。

カレント書類のレイヤーや図形の色に関わらず、出力対象となる全ての図形がここで設定した条件で出力されます。

出力条件(O)
指定する

条件番号(N)
1

スピード(S) cm/s
20

カット圧(E)
17

品質(Q)
3

線種(L)
1, 実線

ピッチサイズ(P) mm
10

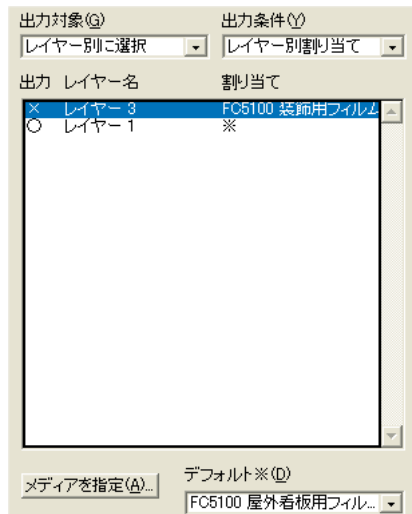
呼出し(O)

リストに追加(A)

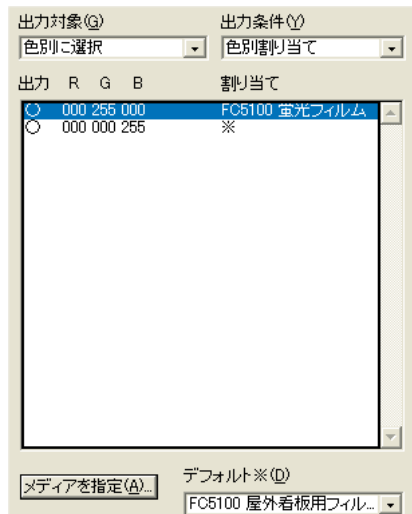
- * [条件番号] [スピード] [カット圧] [品質] [線種] [ピッチサイズ]の詳細については、「4.3 メディア設定」を参照してください。
- * [スピード] [カット圧] [品質]は、指定しないこともできます。指定したくない場合はこれらを[0]に設定してください。その時点のプロッタ側の設定が使用されます。
- * [条件番号] [スピード] [カット圧] [品質]の各設定を反映させるには、プロッタ側で条件の優先度を「コマンド」または「プログラム」に設定する必要があります。設定方法はプロッタの取扱説明書をご参照ください。
- * 本ソフトウェアでFC3600のツールキャリッジの高さ設定を変更することはできません。ツールキャリッジの高さは、プロッタのパネルで設定してください。
- * 本ソフトウェアでFC3600のカット圧を指定する場合、ペンとツールで設定できる値が異なります。使用されるペンまたはツールを確認の上、プロッタの取扱説明書を参照して設定してください。
- * FC3600で、X方向、Y方向で別のカット圧を使用したい場合は、プロッタのパネルで設定してください。その際、本ソフトウェアでカット圧や品質をセットしないようにしてください。

レイヤー別割り当て／色別割り当て

[レイヤー別割り当て]では、レイヤー別にメディアファイルを割り当てることが出来ます。



[色別割り当て]では、図形の色ごとにメディアファイルを割り当てることが出来ます。



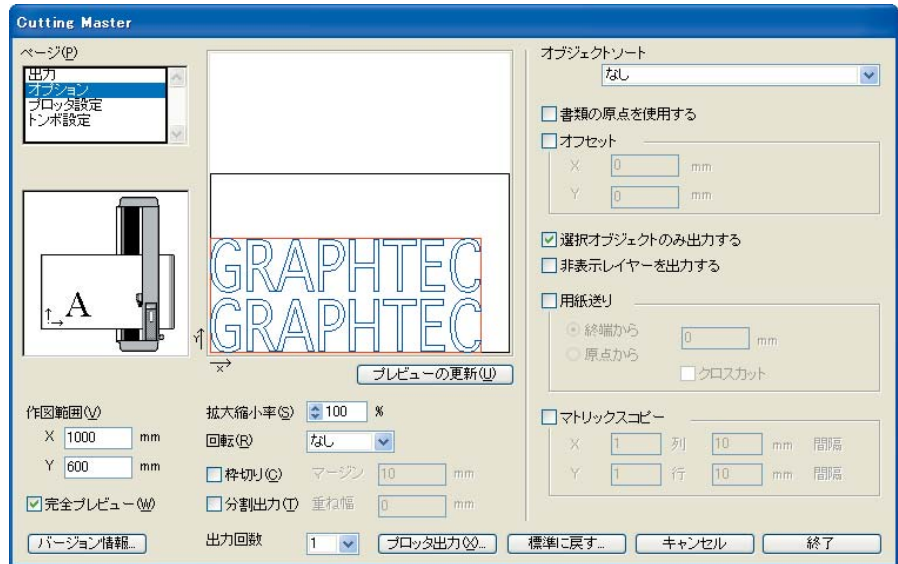
初期状態では、全て[※]に割り当てられています。これは[デフォルト※]で、指定されているメディアファイルの条件で出力されることを示します。[メディアを指定]ボタンで割り当てを変更することができます。

- * [レイヤー別割り当て]は、出力対象の設定が[レイヤー別に選択]の場合のみ使用できます。
- * [色別割り当て]は、出力対象の設定が[色別に選択]の場合のみ使用できます。
- * メディアファイルは、メディアの種類別に標準的な[条件番号][スピード][カット圧][品質]などを割り当てた設定ファイルです。

- 呼び出し 出力条件が[指定する]のときのみ表示されます。
メディアリストを表示します。メディアを選択してOKすると、
メディアファイルに保存された[条件番号][スピード][カット圧]
[品質][線種][ピッチサイズ]が呼び出されます。
*** ここで呼び出されるメディアリストでは、リストの編集はできません。**
- リストに追加 出力条件が[指定する]のときのみ表示されます。
ファイル名を指定するウィンドウを表示します。ファイル名を指
定すると、設定した[条件番号][スピード][カット圧][品質][線
種][ピッチサイズ]をメディアファイルとして保存します。
- メディアを指定 出力条件が[レイヤー別割り当て]または[色別割り当て]のとき
のみ表示されます。
出力条件が[レイヤー別割り当て]または[色別割り当て]のとき
のみ表示されます。
メディアファイルの割り当てを変更します。まず割り当てを変更
したいレイヤーまたは色を割り当てリストで選択します。次にこ
のボタンを押すとメディアリストが表示されますので、変更した
いメディアを選択して[OK]を押してください。割り当てをデ
フォルトに戻したいときはメディアリストで[デフォルト]を選択
してください。
*** ここで呼び出されるメディアリストでは、リストの編集はできません。**
- デフォルト※ 出力条件が[レイヤー別割り当て]または[色別割り当て]のとき
のみ表示されます。
割り当てリストで[※]が表示されているレイヤーまたは色は、こ
の項目で選択したメディアファイルの設定で出力されます。
*** メディアリストにメディアファイルが無い場合は、「設定なし」と表示
されます。この場合は、プロッタに設定されている条件で全ての図形
を出力します。**
*** メディアリストについては、「4.2 メディアリスト」を参照してくださ
い。**
- リスト編集 メディアリストを呼び出します。
ここで呼び出されるメディアリストでは、リストの追加・削除・
編集などを行うことができます。
メディアリストについては、「4.2 メディアリスト」を参照してく
ださい。

Cutting Master(ページ：オプション)ウィンドウ

[Cutting Master]ウィンドウの左上にあるページの切り替えて[オプション]が選択されている場合、ウィンドウの右側に以下の項目が表示されます。



オブジェクトソート

..... 図形の出力順を設定します。表示内容は、[Cutting Master (ページ：プロッタ設定)]ウィンドウの[フラットベッドタイプ][グリットタイプ]の選択により異なります。

●グリットタイプの場合

全ての選択肢が使用できます。

●フラットベッドタイプの場合

[なし][速度優先(レイヤー別)][速度優先(全オブジェクト)]が使用できます。

なし

出力の順番を変更しません。

速度優先(レイヤー別)

出力対象の図形が属しているレイヤーを認識し、各レイヤー内でペン移動が少ない順に図形の並べ替えを行います。各レイヤーはIllustratorの[レイヤーパレット]の順に出力されます。

速度優先(全オブジェクト)

レイヤーを無視し、出力対象の全ての図形をペン移動が少ない順に並び替えて出力します。

メディア移動の抑制(レイヤー別)

出力対象の図形が属しているレイヤーを認識し、各レイヤー内でメディア移動が少ない順に図形の並べ替えを行います。各レイヤーはIllustratorの[レイヤーパレット]の順に出力されません。

メディア移動の抑制(全オブジェクト)

レイヤーを無視し、出力対象の全ての図形をメディア移動が少ない順に並び替えて出力します。

- * 上記の設定に関わらず、端点が一致する図形は可能な限り一筆書きするように並び替えを行います。

書類の原点を使用する

..... OFFの場合、出力対象となる全ての図形を囲む領域の左下がプロッタの原点に一致するように出力します。

ONの場合、Illustrator書類上の原点をプロッタの原点に合わせて(書類上の原点からの位置を保持して)出力します。ただし、書類上の原点の左側と下側は作図しません。

- * この場合の「書類上の原点」とは、Illustrator書類上の「定規の原点」を指します。

オフセット プロッタ側で、指定した原点より離れた位置に出力したい場合に指定します。負の値も指定できますが、プロッタの原点の左側と下側にはみ出た部分は作図しません。数値を変更した際は、[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。

選択オブジェクトのみ出力

..... ONの場合、Illustratorの書類上で選択されている図形のみが出力対象となります。図形が何も選択されていないときは、表示されている全ての図形が出力対象となります。

OFFの場合、Illustratorの書類上で図形が選択されているかどうかにかかわらず、表示されている全ての図形が出力対象になります。

- * この設定は、[Cutting Master(ページ：出力)]ウィンドウの[出力対象]の設定より優先して作用します。

この設定の条件を満たさない図形は、[Cutting Master(ページ：出力)]ウィンドウの[出力対象]のリストに表示されません。

非表示レイヤーを出力する

..... ONの場合、Illustratorの書類上で表示されているレイヤーの図形に加え、非表示となっているレイヤーの図形も出力対象にします。ただし、非表示レイヤーの図形は、全て選択されていないものとして扱われますので、[選択オブジェクトのみ出力]がONで、かつ選択された図形がある場合は出力対象になりません。

- * この設定は[Cutting Master(ページ：出力)]ウィンドウの[出力対象]の設定より優先して作用します。

この設定の条件を満たさない図形は、[Cutting Master(ページ：出力)]ウィンドウの[出力対象]のリストに表示されません。

用紙送り 出力終了後のメディアの扱いを設定します。表示内容は、[Cutting Master(ページ：プロッタ設定)]ウィンドウの[フラットベッドタイプ][グリットタイプ]の選択により異なります。

●グリットタイプの場合

[用紙送り]チェックボックスに加え、[終端から][原点から]の選択と、送り長さの指定、クロスカットのチェックボックスが表示されます。

[終端から][原点から]の選択と送り長さの指定は、ロール紙を使用している場合のみ有効です。

ロール紙を使用している場合、[用紙送り]チェックボックスをONにすると以下のように動作します。

終端から

出力時に使用された最大のX位置を基準として、指定した長さだけ用紙を送り、送り終わったX位置に原点を移動します。原点のY位置は移動しません。

原点から

原点を基準として指定した長さだけ用紙を送り、送り終わったX位置に原点を移動します。原点のY位置は移動しません。

クロスカットをONにした場合、用紙送り後に用紙を切り離します。(横切りカッターが搭載されていない機種では、この設定は無視されます)

シート(カット紙)を使用している場合、[用紙送り]チェックボックスをONにすると、全ての図形を出力した後にペンキャリッジを退避し、用紙を最後まで送ってメディアの交換を促します。

●フラットベッドタイプの場合

[用紙送り]チェックボックスのみが表示されます。

この機能がONの場合、全ての図形を出力した後にペンキャリッジを退避し、メディアの交換を促します。

マトリックスコピー

..... 図形を複数配置して出力したい場合に指定します。

この機能がONの場合、出力対象の図形を横方向(右)にX列、縦方向(上)にY行コピーして出力します。横方向、縦方向に対してそれぞれ配置間隔を指定することができます。

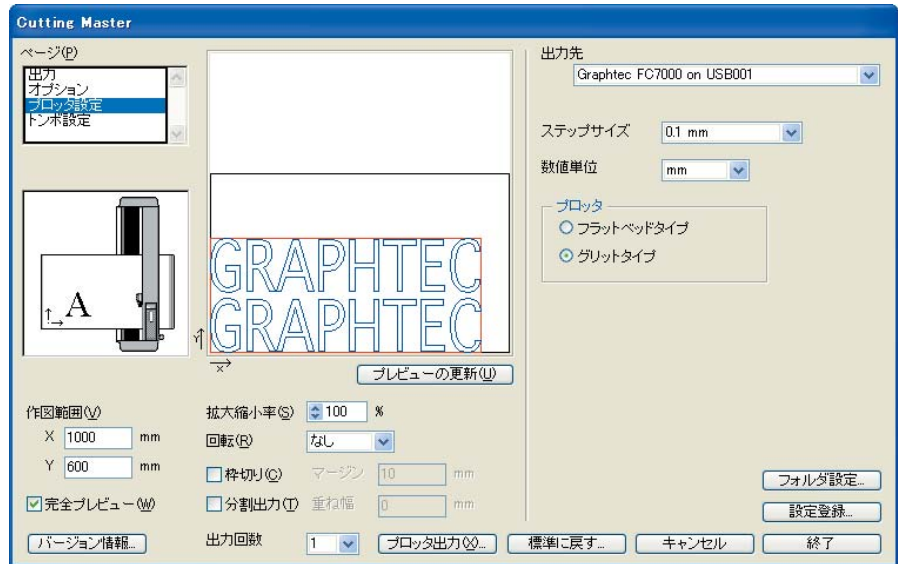
コピー結果の総出力サイズは、作図範囲で指定された範囲(プレビューウィンドウ上の黒枠)で制限されます。

この設定に従い、プレビューウィンドウ上でも出力対象図形が複数表示されます。数値を変更した際は、[プレビューの更新]ボタンでプレビューの更新を行ってください。

* [マトリックスコピー]機能は、[分割出力][重ね幅]機能と同時に使用することはできません。

Cutting Master(ページ：プロッタ設定)ウィンドウ

[Cutting Master]ウィンドウの左上にあるページの切り替えで[プロッタ設定]が選択されている場合、ウィンドウの右側に以下の項目が表示されます。



出力先 システムにインストールされている弊社製Windowsドライバの中から、使用したいものを選択します。選択したドライバに設定されている「ポート」が出力先となります。システムに弊社製Windowsドライバがインストールされていない場合、出力先リストに「ドライバが見つかりません。」と表示され、プロッタ出力ボタンが使用できなくなります。この場合は、Windowsドライバをインストールしてからご使用ください。

* Windowsドライバは、プロッタ付属のフロッピーディスクまたはCD-ROMに含まれています。また、弊社Webサイトで最新版をダウンロードすることができます。Windowsドライバのインストールについては、Windowsドライバの各OS別フォルダ内にある[Readme.txt]ファイルを参照してください。

ステップサイズ プロッタに送る位置情報の単位サイズ(GDU)を指定します。

* この設定はプロッタ側の設定に合わせる必要があります。変更する際はプロッタ側の設定も変更してください。プロッタの操作についてはプロッタの取扱説明書を参照してください。

数値単位 mmおよびinchを選択します。ここで設定した単位は[オフセット]、[ステップサイズ]、[紙送り長さ]、[作図範囲]、[線種]の[ピッチサイズ]、[枠切り]の[マージン]、[分割出力]の[重ね幅]、[マトリックスコピー]の[間隔]の設定項目で有効です。

フラットベッドタイプ/グリットタイプ

..... 使用するカッティングプロッタのタイプを選択します。

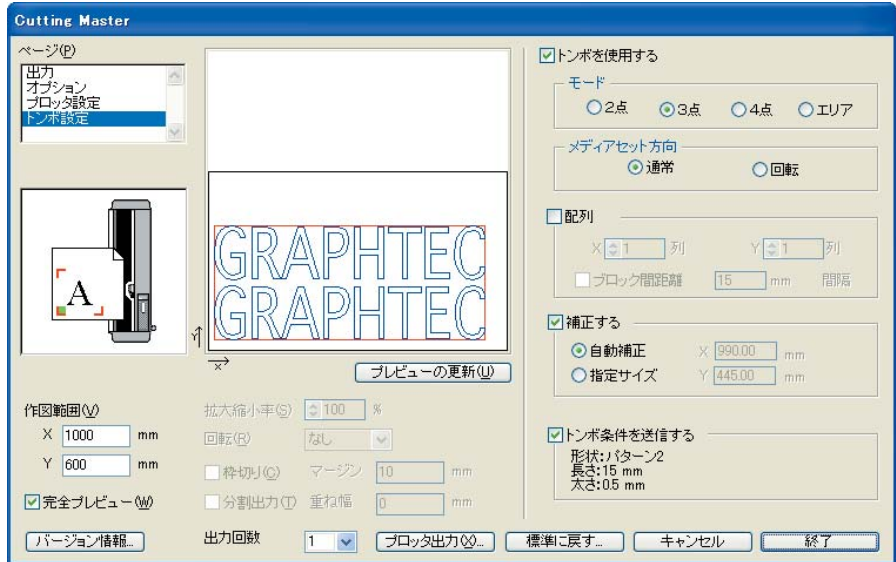
- フォルダ設定 メディアリストを管理するフォルダを設定する[フォルダ設定]ウィンドウを表示します。
[フォルダ設定]ウィンドウについては、「4.4 フォルダ設定」を参照してください。
- 設定登録 本プラグインの設定をファイルに保存し、必要に応じて読み込むことができます。

Cutting Master(ページ：トンボ設定)ウィンドウ

トンボ設定ページの全項目は、プロッタに装着されたトンボ読み取りユニットをコントロールするための機能です。トンボとは、プリンタで印刷された結果と、プロッタでカットする位置を合わせるために使用される、位置合わせのためのマークのことです。

*本ページの機能は、FC5100A・FC7000・Craft ROBO-Pro・CE3000Mk2に対してのみ使用できます。この条件を満たさない場合は、「トンボを使用する」機能はONにしないでください。

[Cutting Master]ウィンドウの左上にあるページの切り替えで[トンボ設定]が選択されている場合、ウィンドウの右側に以下の項目が表示されます。



トンボを使用する ... この項目をONにすると、トンボ設定ページの各機能を設定できるようになります。ただし、常に表示される項目[拡大縮小率][回転][枠切り][分割出力]およびオプションの[マトリックスコピー]は無効になり、変更できなくなります。また、オプションの[書類の原点を使用する]はONとなります。

[トンボを使用する]がONの場合、プロッタ出力ボタンを押す前に、プロッタ上でメディアの左下トンボのトンボ読み取り有効範囲内にペンを移動してください。左下トンボとは、Illustrator書類上で左下にあるトンボのことを指します。読み取り有効範囲は[Cutting Master]ウィンドウ上表示されたプロッタの絵の中で、緑色で示されている部分です。

モード トンボの読み取りモードを設定します。

- 2点の場合、書類の左下、右下のトンボを読み取ります。
- 3点の場合、書類の左下、右下、左上のトンボを読み取ります。
- 4点の場合、書類の左下、右下、左上、右上のトンボを読み取ります。
- エリアの場合、書類の左下、右下、左上、右上のトンボと中間トンボを読み取ります。「配列/ブロック間距離」機能との併用はできません。また、「補正する」にチェックが入ってないと選択できません。

読み取り点が少ないモードの方が読み取り時間が短くなりますが、多くの点を読み取る方がより高度な補正を行うことができます。

メディアセット方向

..... 通常または回転を選択します。セット方向は、[Cutting Master] ウィンドウ上に示されたプロッタの絵を参考にしてください。

配列/ブロック間距離

..... トンボに囲まれたイメージを複数印刷してある場合に、この項目で指定された数だけ、連続してトンボ読み取りとカットを行います。[x]はIllustrator書類上で水平方向の数、[y]は垂直方向の数です。

モードがエリアの場合は使用できません。

ブロック間距離は次のブロックを探すとき、トンボを認識しないで移動する距離を設定します。

補正する この機能では、トンボを使用したさまざまな位置合わせ機能をコントロールします。付属の数値入力ボックスには、Illustrator書類上のトンボ間距離を設定します。設定した数値は、プロッタ出力時にプロッタに送られます。通常はONでご使用ください。本機能をOFFにした場合、トンボを位置合わせと軸合わせのためだけに使用します。ONにした場合、トンボを利用して下記のような補正を行います。

●モード：2点の場合

トンボ読み取りユニットで読み取った左下、右下トンボ間の距離を本項目の[x]の数値にあわせるように、プロッタ上の座標系を伸縮します。(横方向の距離補正)

●モード：3点の場合

トンボ読み取りユニットで読み取った左下、右下トンボ間の距離を本項目の[x]の数値にあわせるように、また、左下、左上トンボ間の距離を本項目の[y]の数値にあわせるように、プロッタ上の座標系を伸縮します。(縦、横方向の距離補正)

●モード：4点の場合

トンボ読み取りユニットで読み取った左下、右下、左上、右上の全ての位置と、本項目の[x][y]の数値から計算されるデータ上の左下、右下、左上、右上の位置とで、範囲内の座標をゆがみを考慮して補正します。(4点補正)。

●モード：エリアの場合

メディア送り方向に非常に長いデザイン(目安として3m以上)をカットする場合に有効です。中間トンボを境界としてメディア送り方向を複数のエリアに分け、エリアごとに4点補正を行います。これにより印刷時のメディアの蛇行などをより正確に補正することができます。(セグメントエリア補正)

* 中間トンボがある方向をプロッタのメディア送り方向になるようにセットしてください。カッター移動方向に中間トンボがあっても読み取りは行いません。

- * 製図機器であるプロッタと異なり、プリンタのほとんどの機種は印刷される位置やサイズについて精度を保証していません。距離補正や4点補正は、印刷された結果に従って、プロッタ上で座標系を変化させ、印刷位置とカット位置が可能な限り一致するように調整する機能です。これにより多くの場合カット位置が改善されますが、より高い精度でカット位置を合わせたい場合は、印刷にプリンタを使用するのではなく、精度保証されたインクジェットプロッタなどを使用してください。
- * プリンタ同士を比較した場合、一般にレーザープリンタはインクジェットプリンタより精度が悪いといわれています。特にシート紙を使用するレーザープリンタは、紙の蛇行などにより印刷にゆがみが生じている場合があり、このような印刷物を使用してプリント&カットを行っても良好な結果は得られにくくなります。

●自動補正

Cutting Master付属のトンボ作成機能でトンボを作成した場合、作成した際のトンボ間距離を自動的にデータ上の距離として付属の数値入力ボックスに設定します。

●指定サイズ

数値入力ボックスに、手動で書類上のトンボ間距離を入力します。Cutting Master付属のトンボ作成機能でトンボを作成しなかった場合や、意図的にトンボ間距離を変更したい場合に使用してください。

トンボ条件を送信する

..... Cutting Master付属のトンボ作成機能でトンボを作成した場合、作成した際のトンボ形状、長さ、太さをプロッタに送ります。通常はONでご使用ください。

4.2 メディアリスト

出力条件を保存した、メディアファイルを管理します。



設定リスト メディア名(メディアファイル名)と、それに保存されている設定内容をリストにして表示します。

* セットアップ後の初期状態で[メディアリスト]ウィンドウに表示されるメディアファイルは目安として用意されています。そのまま使用しても最適な設定である保証はありません。実際の最適な設定は使用するメディアのメーカーや種類及び用途によって異なります。また、カッター刃の磨耗などによっても変化します。プロッタ側で試し書き機能を利用して最適な設定を探し、リスト内の設定を変更・追加してご使用ください。

* あらかじめ登録されているFC3600の設定は、全てペンキャリッジを使用する際の条件です。

新規 新しいメディアファイルを作成します。[メディア設定]ウィンドウが起動しますので、メディアの新規設定を行ってください。

* 既に設定リストにあるメディア名ではメディアを作成できません。

* [メディア設定]ウィンドウについては、「4.3 メディア設定」を参照してください。

コピー 設定されているメディアをコピーします。[メディアリスト]ウィンドウでメディアを選択してこのボタンを押すと、選択したメディアの設定と同じ内容の[メディア設定]ウィンドウが起動します。メディア名を変更して保存すると、新しいメディアが作成されます。

* [メディア設定]ウィンドウについては、「4.3 メディア設定」を参照してください。

変更 メディアの設定内容を変更します。[メディアリスト]ウィンドウでメディアを選択してこのボタンを押すと、[メディア設定]ウィンドウが表示されますので、設定の変更を行ってください。

* [メディア設定]ウィンドウについては、「4.3 メディア設定」を参照してください。

- 削除 [メディアリスト]で選択されたメディアを削除します。
- 読み込み 使用するプロッタ機種別、メディアの用途別に標準的な設定を保存したメディア設定ファイルを読み込み、[メディアリスト]に追加します。

4.3 メディア設定

メディア別の出力条件を作成、変更します。

* [条件番号][スピード][カット圧][品質]の各設定を反映させるには、プロッタ側で条件の優先度を「コマンド」または「プログラム」に設定する必要があります。設定方法はプロッタの取扱説明書をご参照ください。

メディア名 現在のメディア名が表示されます。メディア名は任意に指定することができます。

* メディア名は、半角で27文字までが有効です。

* 既に設定リストにあるメディア名は使用できません。

条件番号 プロッタ側の条件設定番号を指定します。[1]～[8]が選択できますが、プロッタ側で設定できない番号は指定しないでください（機種によって[5]～[8]は指定できない場合があります）。

スピード カット、描画時の用紙に対するペンの移動速度を指定します。[0]～[100]が指定できますが、素材別、ペン種別により最適な設定が異なります。また、プロッタの機種により設定できる値が異なります。詳しくはプロッタの取扱説明書を参照してください。

[0]を指定すると無効となり、上記で指定した条件設定番号でそのとき使用されているスピードになります。

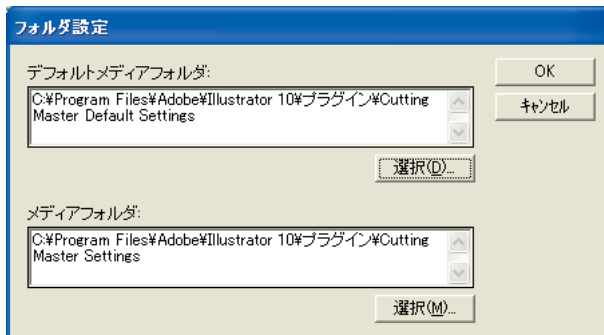
カット圧 カット、描画時にペンを押し付ける力の大きさを指定します。この設定は[品質]と共に指定した場合のみ有効です。[0]～[100]が指定できますが、素材別、ペン種別により最適な設定が異なります。また、プロッタの機種により設定できる値が異なります。詳しくは、プロッタの取扱説明書を参照してください。

[0]を指定すると無効となります。無効の場合、上記で指定した条件設定番号でそのとき使用されているカット圧になります。

- 品質 カット、描画時のペンの加速度を指定します。小さい値を指定するほど品質は上がります。この設定は[カット圧]と共に指定した場合のみ有効です。[0]～[10]が指定できますが、素材別、ペン種別により最適な設定が異なります。また、プロッタの機種により設定できる値が異なります。詳しくはプロッタの取扱説明書を参照してください。
- [0]を指定すると無効となります。無効の場合、上記で指定した条件設定番号でそのとき使用されている品質になります。
- 線種 [1] (実線)、[2] (点線)、[3]～[5] (破線)、[6] [7] (一点鎖線)、[8] [9] (2点鎖線)の9つの選択肢から、出力したい線種を選択します。通常のカットには実線を使用してください。
- ピッチサイズ 実線以外の線種を選んだ場合のみ有効です。実線以外は指定したパターンの繰り返しで作図されます。ピッチサイズは1パターンの長さを指定します。
- * 本ソフトウェアでFC3600のツールキャリッジの高さ設定を変更することはできません。ツールキャリッジの高さは、プロッタのパネルで設定してください。
 - * 本ソフトウェアでFC3600のカット圧を指定する場合、ペンとツールで設定できる値が異なります。使用されるペンまたはツールを確認の上、プロッタの取扱説明書を参照して設定してください。
 - * FC3600で、X方向、Y方向で別のカット圧を使用したい場合は、プロッタのパネルで設定してください。その際、本ソフトウェアでカット圧や品質をセットしないようにしてください。

4.4 フォルダ設定

メディアリストなどで使用される、メディア設定ファイルを管理するフォルダを設定します。



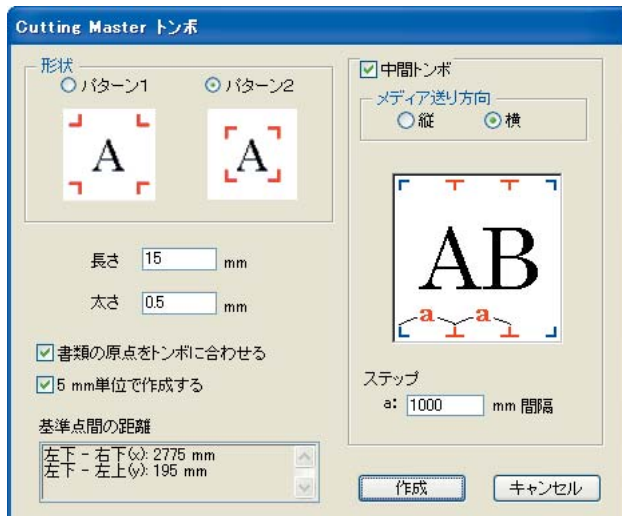
デフォルトメディアフォルダ

..... [メディアリスト]ウィンドウで[読み込み]ボタンを押したときに表示される、メディア設定ファイルを保持しているフォルダを設定します。[選択]ボタンを押すと、フォルダの指定を行うことができます。通常は変更する必要はありません。

メディアフォルダ.... [メディアリスト]ウィンドウの設定を保持しているフォルダを設定します。[選択]ボタンを押すと、フォルダの指定を行うことができます。目的別に複数のメディアリストを使い分けたい場合にご利用ください。通常は変更する必要はありません。

4.5 トンボ

Illustrator書類上で四角形が選択された状態で、Illustratorの[ファイル]メニューから[Cutting Master]→[トンボを作る]を選択するとこのウィンドウを表示します。トンボとは、プロッタでカットする位置を、プリンタで印刷された位置と合わせるために使用される、位置合わせマークのことです。このウィンドウで[作成]ボタンを押すと、あらかじめ選択された四角形をもとにトンボを作成し、四角形は消去されます。トンボは、新たなレイヤーに作成されます。



中間トンボ セグメントエリア補正で使用する中間トンボを作成します。非常に長いデザイン(目安として3m以上)のカットを行う際に使用します。[トンボ設定]ページにある[モード]を[エリア]に指定してカットを行うと、セグメントエリア補正が実施されます。(p27「Cutting Master(ページ：トンボ設定)ウィンドウ」参照)

●メディア送り方向

Illustrator書類上のデザインを基準として、カット時にメディアが移動する方向を指定してください。この方向に沿って、中間トンボが作成されます。

●ステップ

中間トンボを配置する間隔を指定します。メディアの質や印刷する機器のメディア送り精度などによって、適切な値が変化します。通常は、1m以上の長さを指定してください。一般にカッター移動方向のメディア幅より小さい値を指定しても、精度は向上しません。また、中間トンボを増やすほど、カット時にトンボ読み取りの時間がかかります。

形状 トンボのパターンを選択します。どちらのパターンを選択しても、基準となる四角形の4つの角がトンボの基準点(角)に一致するように、トンボが作成されます。

長さ トンボの基準点(角)から線の端までの長さを設定します。

太さ トンボの線の太さを設定します。

書類の原点をトンボに合わせる

..... Illustrator書類の [定規の原点] を左下トンボの基準点にあわせ
ます。通常はONでご使用ください。OFFにしてトンボを作成した
場合は、カットを実行する前にIllustrator書類の [定規の原点] を
左下のトンボの基準位置に移動してください。

5mm単位で作成する

..... 基準となる四角形の大きさが5mmの整数倍ではない場合、
5mmの整数倍に広げてからトンボを作成します。

基準点間の距離 現在の設定でトンボを作成した場合の、トンボ間距離を表示しま
す。

作成 設定を元にトンボを作成し、もともなった四角形は消去します。
トンボは新しいレイヤーに作成され、ロックされます。

⚠注意

トンボ作成後は、Illustrator書類の原点は移動しないでください。

第5章

エラーメッセージ

「出力対象のオブジェクトがありません。」

- 書類上にベクトルデータが無い(文字をアウトライン化していないときも含む)。
→ 文字がある場合は、アウトライン化してください。
- [Cutting Master(ページ：出力)]ウィンドウの[出力対象]の設定が[レイヤー別に選択]または[色別に選択]になっており、全てのレイヤーまたは色が出来されない設定(出力：×)になっている。
→ 出力するレイヤーまたは色を(出力：○)にしてください。
- [Cutting Master(ページ：オプション)]ウィンドウの[非表示レイヤーを出力する]の設定がOFFで、Illustrator上の全てのレイヤーが非表示になっている。
→ 出力するレイヤーを表示状態にするか、[非表示レイヤーを出力する]の設定をONにしてください。

「使用できるプリンタドライバが見つかりません。」

- Windowsドライバがインストールされていない。
→ 本プラグインはWindowsドライバを経由して出力します。Windowsドライバをインストールしてご使用ください。
* Windowsドライバは一部旧機種を除き、プロッタ付属のフロッピーディスクまたはCD-ROMに含まれています。また、弊社Webサイトで最新版をダウンロードすることができます。Windowsドライバのインストールについては、Windowsドライバの各OS別フォルダ内にある[Readme.txt]ファイルを参照してください。

「指定されたプリンタドライバが見つかりません。」

- 前回まで使用していたWindowsドライバが削除された。
→ 本プラグインはWindowsドライバを経由して出力します。[Cutting Master(ページ：プロッタ設定)]ウィンドウに表示される[出力先]で、Windowsドライバを再選択してください。Windowsドライバがシステムにインストールされていない場合は、Windowsドライバをインストールしてご使用ください。
* Windowsドライバは一部旧機種を除き、プロッタ付属のフロッピーディスクまたはCD-ROMに含まれています。また、弊社Webサイトで最新版をダウンロードすることができます。Windowsドライバのインストールについては、Windowsドライバの各OS別フォルダ内にある[Readme.txt]ファイルを参照してください。

「メディアファイルが見つかりません。」

- メディアリストを全て削除した。
- [フォルダ設定] ウィンドウでデフォルトメディアフォルダ、またはメディアフォルダをメディアファイルの無いフォルダに変更した。
- [出力条件]で[レイヤー別割り当て][色別割り当て]を使用しない場合は問題ありません。
[レイヤー別割り当て][色別割り当て]を使用する場合は、メディアリストにメディアを作成するか追加してください。または[フォルダ設定]ウィンドウでデフォルトメディアフォルダ、またはメディアフォルダをインストール時のフォルダに変更してください。

「指定したメディアは既に追加されています。既存のメディアに上書きしますか？」

- メディアリストにメディアの追加を行う際に、既に登録されているメディアを選択した。
- [はい]を選択すると、選択したメディアリストに登録されている内容に上書きします。
[いいえ]を選択すると、追加する内容を変更してメディアリストに登録します。
[キャンセル]を選択すると、メディアの追加を中止します。

「タイプが一致しません。このファイルは読み込めませんでした。」

- 読み込もうとした設定登録ファイルが誤っている。
- 設定登録ファイルは、本プラグインで保存したファイルのみ使用できます。本プラグインで登録したファイルを指定してください。

グラフィック製品お問い合わせ窓口

グラフィック製品に関して、ご相談・ご用命を承ります

この商品の操作に関するお問い合わせは、下記のコールセンターにご連絡ください。

●ナビダイヤル：0570-016262 (コールセンター)

ただし、通話地域制限がある内線電話からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
また、携帯電話をご使用の場合、ナビダイヤルにつながらない事があります。その場合は、045-825-6382におかけください。

受付時間は、土・日・祝祭日と弊社指定の休日を除く9～19時です。

サプライ品および製品修理に関して、ご相談・ご用命を承ります

ご採用いただいた製品を常に最良の状態でお使いいただき、そして万一の故障修理がお客様の近くで迅速にサービスできるように、サービス拠点を配置しています。サービスおよび純正サプライ品についてのご相談・ご用命は、当社製品販売代理店、または下記のコールセンターへお問い合わせください。

●ナビダイヤル：0570-016262 (コールセンター)

グラフィック製品に関する最新情報やサポート情報は、こちらの URL からご覧いただけます。

<http://www.graphtec.co.jp>

本書の記載事項はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

OPS640W(Cutting Master for Windows®)取扱説明書 2005年3月24日発行
(OPS640W-UM-106) 第3版 第1刷 000

発 行 横浜市戸塚区品濃町503-10
グラフテック株式会社

GRAPHTEC